

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

【記入方法】

複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに管理者が介護職員と協議の上記入してください。

次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。

項目番号23 初期に築く本人との信頼関係

項目番号24 初期に築く家族との信頼関係

項目番号25 初期対応の見極めと支援

項目番号26 馴染みながらのサービス利用

項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援

次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。

項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援

項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援

項目番号60 お金の所持や使うことの支援

項目番号61 日常的な外出支援

項目番号62 普段行けない場所への外出支援

項目番号63 電話や手紙の支援

項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 グループホーム こすもす

(ユニット名) _____

記入者(管理者)
氏名

逸持治 幸子

評価完了日

平成20年 2月 27日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念</p> <p>1、家庭に近い環境を整え、お一人お一人に応じたケアを行ないます。</p> <p>1、のんびりゆったり役割を持ちながら楽しめる生活を送っていただきます。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>1、家庭的な環境をハード面でのみ捉えるのではなく日常生活の中で日々行なってきた家事を行う事も一つの環境と捕らえ、その人の持っている力に応じながら役割を持って生活していけるよう支援している。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>1、ご家族の方には介護計画の説明時などに、伝えている。</p> <p>1、広報誌の配布(年4回)をしている。</p> <p>1、中学生の総合学習の職場体験の受け入れ時、保健師、民生員の方の見学時に伝えている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>1、散歩や買い物に出かけ、挨拶を交わしたりしている。</p> <p>1、夏祭りにご招待したり、お野菜を頂いたりといったご近所付き合いをさせていただいている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>1、同じ地域にある施設の夏祭りに参加させていただいたり、近くの中学校の行事にお邪魔したりしている。</p>	<p>1、町内会の行事への参加について、今後検討していきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	1、見学に来られた方に高齢者の介護、認知症高齢者の介護について話をしている。 1、体験学習に来られた生徒さんに認知症高齢者の介護について出来るだけわかりやすくお話をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	1、注意の必要な物品の保管、介護計画の見直し、市町村との関わりなどについて具体的な改善策をたて取り組んでいる。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	1、ホームの近況について、前回の議題で出された事について報告をしたり、委員の方から意見をいただき検討しホームの運営に活用できることについては職員と話し合いながら取り入れている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	1、運営推進会議の報告の折に市の担当者の方に実情をお話している。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	1、研修会に参加し、理解を深めている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	1、ミーティングなどの時に、虐待について具体的な例題を出しながら話をしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>1、契約時には時間を取って疑問点、不安な点などについて話を伺っている。医療連携体制に対して実態を説明し理解をいただいている。退去された方の家族の相談にも応じている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>1、入居者の方に時々お話を伺ったり、会話の中から思いを察し、確認したりし、日々の生活の中に取り入れている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>1、家族の方が訪問されたとき、受診時などに状態を報告している。金銭管理については、その都度記入残高の確認を行い、事務担当者が毎月確認し家族の方にコピーした物を送付している。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>1、家族の方から要望があった事に関しては、ケア、業務の中に取り入れ対応し、要望された家族の方にもその旨お話し理解をいただいている。家族会の時に意見を伺うようにしている。</p>	第三者委員会設置の準備をしている。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>1、週1回のミーティング、随時職員の意見の交換を行い運営に反映している。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>1、入居者の方の状況の変化に対しミーティングで話し合い業務の調整を行なっている。たそがれ時から就寝までの入居者の方のさびしい気持ちに沿ったケアをしていくために現在パート募集中である。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1、職員の異動による不安に対し広報誌で新人紹介を行い、またホーム内に職員紹介のコーナーを設け掲示している。</p>		
5. 人材の育成と支援			
<p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>1、職員の職歴などを考慮し研修会に参加させている。</p> <p>1、事業所内で勉強会を行っている。</p> <p>1、身体介護に関してはその都度実施ケアの向上に努めている。</p>		
<p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>1、排泄ケア研修会のメンバーに管理者を編入させるなど他職種と交流を図るようにしている。</p> <p>1、職員に対しては、地元で行なわれる研修会には出来るだけ多くの職員を参加させ交流を図るように努めている。</p>		
<p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>1、職員からの申し出があった時や、様子を見ながら話を聞く機会を設けている。</p> <p>1、親睦会を開き気軽に話し合う場を作っている。</p> <p>1、リフレッシュ休暇を設けている。</p>		
<p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>1、半期ごとに個人が目標を立て、取り組んでいる。管理者は目標達成できるよう支援している。</p> <p>1、研修会参加後は発表の機会を設け、研修会の伝達をするとともにプレゼンテーション能力の向上を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>1、入居者の方の持っている知識、技を教えていただけるよう工夫しながら日々の生活を送っている。</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>1、訪問された時、介護計画を説明させていただいたときに情報を交換し合いケアに活かせる工夫を出し合っている。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>1、受診は家族の方に依頼し、本人と一緒に過ごす時間を持っていただくことと状態を把握していただけるようにしている。</p> <p>1、ホームで行う行事には家族の方に案内状を出し、出来るだけ参加していただき共に楽しんでもらうよう働きかけている。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>1、本人が安心して過ごせる場所など(美容室など)には積極的に出かけていただいている。</p> <p>1、面会については、家族の方から制限をされない限り面会をお願いしている。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>1、気の合う入居者の方同士気軽に会話を楽しめるようテーブルの位置を工夫したりしている。</p> <p>1、お茶の時間には職員と一緒に話をしたり、家事、レクレーションを通して互いのコミュニケーションが円滑に行くように働きかけている。</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>1、退去後も相談を受けたり話を伺ったり落ち着かれるまでお付き合いをしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>1、本人の生活のリズムを大切にし、その都度意向を確認しながら生活支援を行っている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>1、入居時や訪問された時、介護計画の説明をさせていただいた時など、少しずつ情報を得るようにしている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>1、センター方式のアセスメントシートを一部活用し把握するように努めている。</p> <p>1、一つ一つの行動を大切に、一動作ずつ出来ることの確認を行っている。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>1、参加可能な職員でモニタリングを行っている。</p> <p>1、朝のミーティング時間に随時カンファレンスを開き必要時介護計画に反映させている。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>1、定期的にモニタリングを行っている。</p> <p>1、状態の変化に応じてカンファレンスを開き状態に応じた介護計画を作成している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>1、暮らしの様子などを本人の言葉をそのままに、またエピソードなども情景がイメージできるよう記録し職員全員で共有できる体制を取っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)</p>			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>1、近くの中学の生徒さんとの交流を図ったり図書館を活用したりしている。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>1、近隣の福祉施設の夏祭りなどに参加させていただいたり交流を図っている。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>1、地域包括支援センターの職員の方に運営推進会議の中で支援に関する情報など協力していただいている。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>1、入居以前のかかりつけ医の継続を希望される方にはそのまま継続していただいている。受診は家族の方同伴を基本にしているが、緊急時(発熱、疼痛など)には職員が代行するようにしている。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>1、入居以前のかかりつけ医にそのまま継続して受診していただいている。必要に応じて連携を取りながら対応している。</p>		
45				
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>1、ホーム内での対応可能な状態について医師、病院の相談員を連携をとり、治療、リハビリを調整してもらっている。職員が面会に行き、入院によるダメージを少しでも回避できるよう働きかけている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>1、随時カンファレンスを開き、行っているケアまたは今後どうしていく事がその人らしく時間を過ごしていただけるか話し合い、計画、実施している。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>1、ホームとして何が出来るのか、何が出来ないのか。重症となった場合、職員は何が不安なのか、看護師の役割、何をどこまで出来るのか、ミーティング時に話し合う機会を設けている。医療に関する知識については主治医からインターネットなどから情報を得て、看護師が中心となって勉強会を開き習得に努めている。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>1、他の事業所に移られる時に家族の方の了解の下に基本情報、アセスメント、ケアプランなどをお渡しし、なおかつ事業所の方と話し合いの場を持ち情報を提供している。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>				
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>				
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>1、日々のかかわりの仕方について、入居者の方のプライバシーやプライドを損ねないよう声の掛け方、声を掛ける場所など考慮していくようミーティングの時などに話を徹底するよう働きかけている。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>1、入居者の方一人ひとりに合った声掛けを行い、どんな時にもご本人の意向を尊重しながら支援している。</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1、日課表は作成しているが、入居者の方の一人ひとりの気持ちや体調を伺いながら、その人らしい過ごし方が出来るよう支援している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>1、着替えの準備は職員が入居者の方に伺いながら行っている。行事の時や外出する時などお化粧品をして、おしゃれを楽しんでいただいている。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>1、日常の献立は職員が立てているがホーム内の催し事(敬老の日など)では、入居者の方の希望を取り入れている。調理、盛り付け、配膳など入居者の方一人ひとりの力が発揮出来るように考慮し声を掛けて一緒に行っている。食事は入居者の方と職員と一緒に食べている。</p>		
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>1、入居者の方の好みを理解し、ご本人に確認しながらそれらを楽しんでいただけるよう支援している。買い物に同行していただいた時に、好きなものを選んでいただくよう声を掛けたり、お茶の時間には何が良いか選んでいただいている。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>1、排尿チェック表を使用し、尿意を訴えない入居者の方にも時間を見計らってトイレに案内し、トイレで排泄出来るよう支援している。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>1、本人に入浴の意向を確認し入っていただいている。</p> <p>1、拒否される方には声掛けを工夫しできるだけ入っていただけるよう工夫している。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>1、本人の意向を確認しながら状態に応じ休息をとっていただいている。</p> <p>1、生活のリズムを乱さないように活動の時間も考慮しながら行っている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>1、家事一般について入居者の方が自主的に、または少しの声掛けで行っている。家事が済んだ後は職員がそれぞれに感謝の意を伝えている。</p>		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)	1、自分でお金を持っていたいと希望される方については家族と相談しお金を持っていただいている。 1、買い物に同行していただいた時に支払いをしていただいている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	1、天候によって散歩を計画し本人の希望に合わせて出かけている。 1、買い物も本人の希望、意向を確認し同行していただいている。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)	1、年2回小旅行の計画を立て家族の方と外出する機会を作っている。 1、他施設、学校訪問を行い気分転換を図っている。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	1、入居者の方の状況に応じて職員から電話を掛けるようお話ししたり本人から申し出があった場合その都度対応している。実際にかけることが困難な方には職員がスムーズに掛けられるよう支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)	1、特に家族から制限されていない限り訪問される方は自由にいただいている。 1、家族の方には時間に関係なく自由に訪問していただいている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	1、人権尊重を最優先し身体の拘束、鍵を掛けるなどの行為は行わないということを徹底している。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1、日中は鍵を掛けることは無い。 1、入居者が一人で出かけようとする時はさりげなく同行し行動を制限する事はない。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1、入居者の方の状況が常に把握できるように努めている。記録の場所、申し送り、ミーティングの場所など夜間は2時間ごとに巡視確認を行っている。起きてこられた時もすぐに対応できるように居場所を工夫している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	1、注意の必要な物に関しては家族の方と相談しお持ち帰りいただくか、職員が保管し必要時注意しながら使用していただいている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	1、ひやりはっとの報告を活用し具体的な対策を立てている。 1、事故が起こった場合は原因の今後の予防対策について検討している。		
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	1、職員全員が講習を受けている。 1、今年度講習を受けた職員が事業所の勉強会で発表するなどして知識技術を深めている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	1、火災避難訓練は年2回行っている。 1、地域の人々の協力については区長さんを通し依頼している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	1、日々の生活の中で様々な家事をしていただいている。その事によるリスクも上げられるが活性化につながっている事を説明して理解していただいている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	1、毎日バイタルサインのチェックを行い同時に観察をこまめに行い異常の早期発見に努めている。 1、異常が見られた時は変化時の記録をし状況に応じ速やかに医療受診を行っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1、内服薬一覧表を作成し「お薬の説明書」をファイルし職員全員で理解に努めている。 1、服薬時は本人に手渡しまたは介助で内服していただききちんと服薬しているかどうか確認している。 1、誤薬予防のため服薬時、3度確認を行っている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	1、排泄ケア研究会の勉強会に参加し栄養士の方のアドバイスを受け食物繊維を多く取るようにしている。 1、適度な運動、家事などを行っていただき自然排便できるよう働きかけている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1、食事後にうがいまたは歯磨きを促しその人の状態に応じて支援を行い口腔内の清潔に努めている。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1、食事や水分量を毎日チェックし、必要に応じては個別のチェック表を作成し栄養管理水分摂取の管理を行い職員全員で共有している。 1、肉の嫌いな方には好きな魚を提供し対応している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	1、手洗い、うがいの徹底を行い風邪予防をしている。 1、ペーパータオルを使用し感染の予防をしている。 1、入居者、職員全員がインフルエンザの予防接種を行っている。 1、掃除マニュアルの徹底(チェック表)		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1、台所用品の衛生管理(マニュアル作成し徹底して行っている) 1、新鮮な食材を使用していくために、毎日買い物を行い買いだめをしないようにしている。 1、賞味期限が必ず確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	1、玄関周りに花を植えたりプランターを置いたりなどして季節感を感じられる空間を作っている。 1、玄関先にベンチを置きゆったり過ごせる場所を作っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1、いつも利用しているホールは台所に隣接しており常に調理している様子など見たり感じたり出来るようになっている。 1、季節の移ろいを感じられる環境にある。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1、気の合う方向士気軽に話をしたりできるようテーブル椅子の配置を工夫している。 1、一人でゆったり過ごせる場所を作っている。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>1、家族の方と相談し、本人が今まで使い慣れた物、馴染みの物を配置し安心して過ごせる工夫をしている。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>1、匂いのもととなる原因を作らないようにしている。</p> <p>1、1日1回は必ず換気を行いその他状況に応じてその都度換気をしている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>1、入居者の状態に配慮した生活環境を提供している。入居者の方が調理しやすいように多目的テーブルを設置した。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>1、何が分かりにくいのか混乱する原因は何かを明らかにし状況に応じて環境整備に努めている。</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>1、庭に花を植えたり食堂から見えるところのフェンスにトマト、きゅうりを這わせて成長を楽しんでいただいたり、畑スペースを作り野菜を植えて収穫を入居者の方と職員全員で楽しんだ。</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	その他()
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	その他()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	その他()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	その他()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しづつ増えている あまり増えていない 全くいない	その他()
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	その他()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)